

一般財団法人三重YMCA
2019年度事業報告書
【計画期間：2019年度～2021年度】

§ 1 意 義

一般財団法人三重YMCAは、キリスト教精神をもとにしつつ、宗教、国、政治、人種などの枠を超えて、課題にある青少年の痛みを受け止め、彼らが個人として、また社会人として課題に向き合い、解決していく力をもった人に成長すること願い、そのために必要な諸活動を営む社会教育団体である。

また、高齢化社会にあって、彼らが高齢者になっても、そのおかれた環境のなかでポジティブに生きることができることを願い、ウェルネスを諸活動に置く。

※「ウェルネス」とは、各人が、与えられたその状況の中で、自らの潜在的な可能性を最大限に求める生き方です。身体的健康、精神的健康、知的健康、情緒的健康及び社会的健康のそれぞれについて、これらがより良い状態へと統合され、より望ましい人となることを目標とするものです。

【年間聖句】

「ひとびとは東から西から、また南から北から来て、神の国で宴会の席に着く。」
(ルカによる福音書13章29節)

§ 2 経営理念（ミッション・ステートメント）

三重YMCAは、イエス・キリストによって示された愛と奉仕の精神にもとづき、次の使命を果たすための活動を展開します。

- 1 すべての人が、生涯をとおして人間らしく成長することを願い、ボランティアの育成と共に学び合う教育に力を注ぎます。
- 2 お互いの人権を尊重し、共に生きる福祉社会と、すべての生命が守られる環境の実現に努めます。
- 3 歴史に学び、互いの文化を理解し、正義と平和のために、世界の人びとと共に歩みます。
- 4 常に何が正しいのかを、共に考え、話し合い、実践する社会の実現をめざします。

§ 3 事業活動の現況に関する事項

● 事業の全般的状況

- 1 2019年度は、3ヶ年計画の第1年度であった。バランススコアカードによって重点経営課題を求め、主な事業について課題を整理し、アクションプランをまとめ、取組んだ。

- ・重点経営課題：「現有資産（人・物）を活用し収益を拡大する」
- ・数値目標と2019年度末結果

区 分	3年後(2021年度末)目標	2019年度末実績	達成率
売上高	40,000千円	34,031千円	85.1%
経常利益	5,000千円	1,231千円	24.6%

- 2 上記経営課題は、現講師を活用する方法で実現した。内容は、中学生を対象にした英検講座と、体操等の集中講座（体操、英語で調理しよう、英語で遊ぼう等）の回数増である。

英検講座は、受講者の約80%が合格した。中でも準1級（プライベート）に1名が合格できたことは、今後の取組みを考える参考になった。

体操等の集中講座は、それぞれ多くの参加者があった。なお、春休み中の計画は、新型コロナウイルス感染予防のため中止した。

3 事業の中心となっているのは、Y M C A 幼稚園に係るものである。各事業の売上高一覧に示すように、幼稚園事業が収益の約 76.4% を占める。この構造はこれまでと変わっていないため、第二・第三の柱を作りあげることが課題である。

4 2019年10月から幼児教育の無償化がスタートした。Y M C A 幼稚園は、認可外保育施設でありその対象となった。これの申請過程を通して、当園を取り巻く環境、おかれている位置付け等が明らかになったように思われる。

語学、野外、体操という特色と、温かい雰囲気、それを造りあげてきたリーダーのたゆまない努力の賜物であることに感謝したい。これからも行って良かった幼稚園となるよう取組みたい。なお、2020年3月末で395名の卒園生を送り出すことができた。

5 今後の課題は、Y M C A 幼稚園の土地が借地（期間：2023年12月まで）の対策である。代替地を得るか、現在の土地を購入するか、早急に結論を出す必要がある。いずれも資金が必要となる。

なお、Y M C A 幼稚園は、現在の認可外保育施設としての形態を続けることとしたい。これは認可園になるためには、認定こども園があるが、3歳児の入園申込みが四日市市となるため、必ずしも希望者がY M C A 幼稚園に入園できるとは限らないことによる。

6 今後について、引続き現在の事業を継続することとする。プログラムのみえる化に取組み、参加してよかった、楽しかった、また参加したいという思いを持っていただけるよう取組みたい。

● 各事業の売上高

(単位：千円、%)

事業名	売上金額	構成比	前期売上金額	構成比
Y M C A 幼稚園事業	25,998	76.4	24,945	76.5
青少年育成事業	2,622	7.7	2,275	6.7
語学事業	2,006	5.9	2,170	6.4
その他事業	3,393	10.0	3,534	10.4
合計	34,019	—	33,924	—

※その他事業：音楽・クラフト教室、TOEIC試験会場運営受託

§ 4 資金の借入れその他資金調達の状況

2019年度は、資金不足が生じた月があったため、役員等からの借入れ或いは寄付によって対応した。

§ 5 設備投資の状況

当期中に完成した主要設備、継続中の主要設備の新設または拡充はなかった。

§ 6 対処すべき課題

- 1 理事後継者を早急に獲得すること
- 2 Y M C A 幼稚園の土地は、借地である（定期借地契約、平成35年12月契約満了）。早急に対応策をたてること
- 3 収入の約80%をY M C A 幼稚園事業が占めている。法人の安定運営のために、第二、第三の柱となる事業を立上げること
- 4 個人会員、日本Y M C A 同盟からの借入れが大きく、返済の責務を負っていると同時に、毎月の資金繰り圧迫の要因となっていること（§ 8 参照）

§ 7 設置施設の状況

名称	所在地	備考
本社、Y M C A 幼稚園	三重県四日市市阿倉川町3-17	土地は、借地
体育ホール	三重県四日市市阿倉川町6-11	建物は、借家

§ 8 主要借入先

借入先	金額
個人会員	73,273千円
公益財団法人日本YMCA同盟	7,702千円
合計	80,975千円

§ 9 組合の運営組織の状況に関する重要な事項

当法人には、組合組織はなく、従業員代表を選んでいる。

§ 10 職員の状況

区分	人数	平均年齢	平均勤続年数	備考
総主事	0名	—	—	不在
役職員数	1名	—	12年	YMCA幼稚園園長
職員数	19名	46.4歳	11年	
TOEIC試験官数	17名	—	—	7回、延べ121名
合計	37名	—	—	—

§ 11 役員に関する事項

役職	氏名
代表理事	塚本浩巳
理事	栗原正明
理事	薦田正男
監事	千賀直道
監事	早川直希

§ 12 その他法人の状況に関する重要な事項

- 1 当法人は、1974(昭和49)年3月三重県四日市市に誕生、1983(昭和58)年4月財団法人三重キリスト教青年会として財団法人格を取得、2014(平成26)年4月一般財団法人三重YMCAに移行した。
- 2 2018年10月25日付けにて「認可外保育施設指導監督基準を満たす旨の証明書」(三重県知事 鈴木英敬)を受けた。これにより「認可外保育施設」として認定された。
「子福第04-240号 平成30年10月25日」
三重県こども・福祉部 少子化対策課保育サービス・幼保連携班

以 上

【数値指標】

§ 1 各事業別クラス、参加者数等一覧

(2020年3月31日現在)

クラス名	対象	回数	人数	備考
【YMCA幼稚園事業】				
マミー	1歳児の親子	月2回	5組	英語、体育、音楽
つくし	2歳児の親子	毎週水曜日	11組	英語、体育、音楽
めばえ	満3歳児	毎週木曜日	6名	
のぞみ(年少)	3歳児	週4日	13名	
みのり(年中)	4歳児	週5日	15名	
ひかり(年長)	5歳児	週5日	15名	
アドバンスアウル他	年少～年長	週1回	11名	幼児英語クラス
アドバンスグレッズ	小学1・3年生	週1回	13名	小学生英語クラス
アウルエレメンタリー	小学1～6年生	週1回	20名	小学生英語クラス
算数・英語	中学1年生	週1回	4名	
中学生準備	小学6年生	週1回	4名	
中学生(英検対策)	中学1～3年生	週1回	4名	
ピアノ	年少～小学生	週1回	10名	
クラフト	年少～小学生	月2回	12名	絵画、クラフト製作
Let's English Cooking	年少～小学生	3回	延べ63名	夏・冬休み、春は新型コロナで中止
英語で遊ぼう	年少～年長	3回	延べ17名	夏・冬休み、春は新型コロナで中止
クラフト	年少～小学生	3回	延べ51名	夏・冬休み、春は新型コロナで中止
【青少年育成事業】				
幼児体操教室	年少～年長	週1回	16名	年40回
マスター	小学1～4年生	週1回	8名	年40回
短期集中体操	年少～小学生	4、5日間	延べ102名	8回開催、1回は新型コロナで中止
アルカディア	青年	月1回	7名	障がいを持つ青年の活動
【語学事業】				
英会話上級	成人	週1回	3名	
フォレスト	成人	週1回	4名	初級2名、上級2名
企業英語クラス		週1回	2企業	